問　主な質問と答弁

サステナブル度調査
経済発展と環境保全との両立を評価
初参加で総合順位全国6位を獲得

質問　日本経済新聞社産業地域研究所が全国の市区を対象に「サステナブル（持続可能性）度調査」を実施したが、この調査の概要と本市がこの調査に初めて参加した意義について聞きたい。

答弁　この調査は、地球温暖化対策などの「環境保全度」、人口構成や医療・福祉などの「社会安定度」、産業力や自治体財政基盤力などの「経済豊かさ度」を測定する方法により、その都市の経済発展と環境保全との両立を評価するものである。

本市は、今回の調査において、本市及び他都市の環境施策が、全国的にどの順位に位置づけられているのかを把握するために参加したものであり、参加した全国六百十八市中、総合順位で第六位という評価を得た。

質問　経済発展と環境保全を両立させ、低炭素社会を支えるサステナブル都市の構築に向け、本市の課題や今後、重点的に取り組むべき施策の展開について、市の考えを聞きたい。

答弁　本市では、これまで三大谷戸の保全のための施策拡充や市民センター等への太陽光発電システムの導入、環境大賞事業の創設など、地球温暖化防止に向けての総合的な施策を進めてきた。

今後は、この調査結果を踏まえ、二酸化炭素削減に向けた取り組みを全庁的な施策として推進していく。

さらに、今年度改定作業を進めている地球温暖化対策実行計画において、二酸化炭素削減について意欲的な目標を掲げ、現在行っている地球温暖化防止施策のさらなる推進・強化を図る中で、今回、上位にランクされなかった項目や課題を分析し、「環境行動都市ふじさわ」の推進を図っていく。

太陽光発電システムを導入＝善行小学校

地域のまちづくり格差を生む懸念は

質問　地域経営会議は、各地区によって、それぞれの仕組みや部会等に大きな違いがあり、市長は、これらを地域の特徴としているが、このことにより地域格差が生じることになると考えるが、どうか。

答弁　地域経営会議は、モデル地区である湘南台地区の取り組みを踏まえ、現在、各地区の特性に応じた組織運営が行われている。

また、地域経営会議は、公募委員と団体推進委員により構成されるが、委員の人数、推薦委員の母体となっている地域団体も異なっており、部会についても、それぞれの地区で地域特性や取り組むべき内容に応じたものが設置され、協議を進めている。

十三地区を取り巻く環境は多様であり、地域の魅力も地域資源も異なる中で、その特性や個性を生かしたまちづくりを進めており、このことが地域格差を招くとは考えていない。

適正かつ公平な業務の執行
公共事業に伴う補償基準
明確化に向け、ルールの整備を検討

質問　公共事業の補償業務を行うに当たっては、地権者はもとより、市民に誤解を与えないようにするためにも、今後は、補償基準の明確化が必要と考えるが、ルールの整備を検討することについて聞きたい。

答弁　今後、補償業務を行う際は、補償基準を明確にする必要があると考え、公共事業に伴う補償業務の適正かつ統一的な執行のあり方を検討するため、本年四月に副市長を委員長とし、関係部課長十五人によって組織した「補償業務のあり方検討委員会」を設置した。

この検討委員会では、①公共事業に伴う補償業務に関すること②中央用地対策連絡協議会が定める基準等の分析及び同基準等に定めのない補償の対応に関すること③補償業務の執行体制の分析と今後のあり方に関すること④職員に対する研修の実施に関することを調査・審議することとしている。

また、検討委員会では、その設立趣旨を踏まえ、五月二十八日に神奈川県の協力を得て、補償業務関係課等の職員を対象に「補償業務についての研修会」を開催した。

さらに、今後の補償業務を執行するに当たり、中央用地対策連絡協議会が定める基準等の解釈に疑問がある事項等について調査・審議し、本市としての統一的な方向性を明らかにするため、六月に検討委員会の専門部会的な組織として「藤沢市補償業務審査委員会」を設置した。

今後は、本市における補償業務に係る基本的事項について、検討委員会で調査・審議を行うとともに、実際の補償業務を適正かつ公平に執行するために必要な事項の解釈等については、この審査委員会において調査・審議をする体制で臨み、より円滑かつ適正な補償業務の執行に向けて取り組んでいく。

平和推進の事業　クスノキを植樹

質問　長崎で被爆したクスノキの苗木の寄贈を受け、平和の象徴として育てていくとのことだが、被爆者の方々にも参加していただくとともに、そのそばに碑をつくり、被爆者の思いを発信するものができればよいと考えるが、どのような計画なのか聞きたい。

答弁　本年は、市制施行七十周年の節目の年であり、これを契機に、市民共有の願いである核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、十一月頃には核兵器廃絶を願い、クスノキの苗木の植樹を市民とともに実施したいと考えている。

また、田上長崎市長と協力して平和シンポジウムの開催を考えており、現在、担当課を中心にプロジェクトチームを設置し、事業計画などを検討している。

今後も、市民や平和の輪をひろげる実行委員会の意見なども聞きながら、より有効で充実した平和推進の事業となるよう、取り組みを進めていきたい。

質問　このことを機会に、被爆者の方々とも、さらに交流を図ってほしいと考えるが、どうか。

答弁　本市には、約三百人の被爆者が在住していると言われている。

平和の輪をひろげる実行委員会の委員の中にも、被爆された方もいるため、市民報告会の場などを通じて、交流を図るとともに、実行委員会の方々と十分に協議しながら、平和推進のための事業を進めていきたい。

公社による先行取得　土地利用の検討は

質問　善行地区コミュニティ活動事業用地の取得問題に関し、市は、今後の土地利用の検討について、善行地区の地域経営会議にすべてゆだねている状態である。

市がトップダウンで土地を購入したにもかかわらず、使い方は地域で考えるということは、地域経営会議の設立趣旨に反していると考えるが、どうか。

答弁　当該用地については、善行地区自治会連合会からの「市民農園についての陳情」に基づき、市民農園に限らず、高齢者の農業体験を初めとする地域住民が集えるコミュニティ活動の場、交流の場となるものと判断し、土地開発公社が先行取得したものである。

地域経営会議は、「地域のことは地域で決め、実行する」という考え方に基づいて、地域主体のまちづくりを進めるため、住民による地域自治の会議体の意思決定機関として設立したものである。善行地区の地域経営会議が、この土地を含めた周辺の一体的な整備計画の考え方や方向性について検討を行うことは、その設立趣旨に沿ったものである。

地域経営会議では、本年四月に現地を視察しており、その際、市の関係課との意見交換を行う中で、金子の森に魅力を感じていることや、当該用地と金子の森をつなぐことが必要であるなどの意見が出された。

既に、部会も設置されており、こうした意見も踏まえ、市民センターと連携しつつ、整備計画の考え方や方向性について具体的な検討に入っているものである。

新しい公共づくりで　市内企業育成に寄与

質問　市では、市内分権、地域分権を進めていくに当たり、権限や予算を地域に移譲しているが、現在の厳しい経済状況下では、行政と企業が知恵を出し合って、市内企業の育成を図っていくことが重要と考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁　本市では、藤沢市経営戦略基本方針に基づき、市民と取り組む公共経営を掲げ、市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等とのパートナーシップを強化し、多様な主体との協働による新しい公共づくりを目指している。

地域においても、「地域のことは地域で」という地域分権の考え方に基づき、多様な主体との役割分担と責任を踏まえ、連携と協働による「新しい公共づくり」の推進を図っていきたいと考えている。

今後は、こうした視点に立ち、計画的に地域へ予算を移譲し、地域で執行できる上限額を三千万円までに拡大していくとともに、市内企業のノウハウや資源を活用し、より効率的、効果的な公共サービスの充実に努めていく中で、市内企業の健全な育成につなげていきたいと考えている。

議員出席表

5月臨時会
6月定例会
本会議

席番号	氏名	5/19	5/28	6/7	6/9	6/18	6/21	6/22	6/23
1	竹村雅夫	○	○	○	○	○	○	○	○
2	植木裕子	○	○	○	○	○	○	○	○
3	三野由美子	○	○	○	○	○	○	○	○
4	柳田秀憲	○	○	○	○	○	○	○	○
5	加藤なを子	○	○	○	○	○	○	○	○
6	高松みどり	○	○	○	○	○	○	○	○
7	柳沢潤次	○	○	○	○	○	○	○	○
8	原田伴子	○	○	○	○	○	○	○	○
9	桜井直人	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市川和広	○	○	○	○	○	○	○	○
11	佐藤春雄	○	○	○	○	○	○	○	○
12	佐賀和樹	○	○	○	○	○	○	○	○
13	高橋八一	○	○	○	○	○	○	○	○
14	伊藤喜文	○	○	○	○	○	○	○	○
15	真野喜美子	○	○	○	○	○	○	○	○
16	宮戸光	○	○	○	○	○	○	○	○
17	浜元輝喜	○	○	○	○	○	○	○	○
18	熊倉旨宏	○	○	○	○	○	○	○	○
19	井上裕介	○	○	○	○	○	○	○	○
20	原輝雄	○	○	○	○	○	○	○	○
21	松長泰幸	○	○	○	○	○	○	○	○
22	諏訪間春雄	○	○	○	○	○	○	○	○
23	山口幸雄	○	○	○	○	○	○	○	○
24	矢島豊海	○	○	○	○	○	○	○	○
25	渡辺光雄	○	○	○	○	○	○	○	○
26	加藤一	○	○	○	○	○	○	○	○
27	栗原義夫	○	○	○	○	○	○	○	○
28	河野顕子	○	○	○	○	○	○	○	○
29	鈴木明夫	○	○	○	○	○	○	○	○
30	橋本美知子	○	○	○	○	○	○	○	○
31	増井秀夫	○	○	○	○	○	○	○	○
32	大塚洋子	○	○	○	○	○	○	○	○
33	大野美紀	○	○	○	○	○	○	○	○
34	松下賢一郎	○	○	○	○	○	○	○	○
35	塚本昌紀	○	○	○	○	○	○	○	○
36	竹内康洋	○	○	○	○	○	○	○	○